

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0197600356		
法人名	社会福祉法人パートナー		
事業所名	グループホームハートの家六番館 2階ユニット		
所在地	北海道石狩市花川北6条3丁目16番地		
自己評価作成日	2022年8月15日	評価結果市町村受理日	2022年9月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

石狩市の住宅街にありますグループホームです。サービス付き高齢者住宅・小規模多機能型居宅介護が併設しており、施設内での利用者様との交流が図れています。ユニット1(2階)では「なやみ少なく、まいにちかんどう」をユニット目標に掲げております。職員だけの目標ではなく、入居されている利用者様も同じ悩みを持っていること、毎日を感じて過ごして頂きたいという意味を込めて、職員と利用者様の共通目標ということで全職員で考えた目標となっております。利用者様の持っている力を最大限活かし、職員と一緒に食事の準備や後片付けをしたり、レクリエーションに元気よく参加されております。コロナウイルス対策で外出等は難しい状況ですが、コロナの感染状況が落ちれば、皆さんで沢山お出かけしていきたいと考えております。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0197600356-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0197600356-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	令和4年9月8日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

石狩市の花川地区にある2ユニットのグループホームである。周辺は閑静な住宅地で、病院や市役所、公園が近く便利である。建物は3階建てで、2～3階の一部がグループホーム、その他にサービス付き高齢者住宅、小規模多機能事業所が併設されている。共用空間は広く開放的で回廊式の造りである。法人が多数のグループホームを運営していることもあり、職員の育成、各種のマニュアルなど体制が整っており、職員の意見を尊重し、全体で運営に関わっていく姿勢がみられる。感染症の流行により、地域交流が難しくなっているが、流行前は市内のお祭りや作品展に参加したり、法人合同の夏祭りに多くの住民が来て交流するなど、活発な交流があった。感染症が落ち着けばまた交流が再開できるよう事業所として準備している。家族との関係では、何かあればすぐに電話で報告し、信頼関係を築いている。ケアマネジメントの面では、フェイスシート、アセスメントシート、介護計画、日々の記録、計画見直し時の記録が見やすく整えられ、わかりやすくなっている。食事支援では、利用者の可能な範囲で食事の準備や後片付けに加わってもらっており、ミキサー食の提供でもなるべく食材の彩りを残して提供するようにしている。快適な環境ときめ細かな支援のもと、安心して過ごすことのできるグループホームである。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階ユニット)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	各ユニットごとに理念を設定しており、その目標に向かい日々努力しております。	法人の基本理念とユニットごとの理念があり、法人理念の中の「よい人間関係」に地域との関係を含めている。理念の地域密着を含めた意義を再確認し、ユニットごとの理念に地域密着に関する文言を加えることも考えている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナウイルスの影響により、予防対策の一環として外部の方を招くことが難しくなっており、コロナ前に比べると交流機会が減っているのが現状です。	感染症流行前は市内のお祭りや作品展に参加したり、折り紙制作や歌や踊りを披露するボランティアサークルの訪問を受けていた。感染症収束後は地域交流を再開したいと考えている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナウイルスの影響により、認知症サポーター養成講座等に参加が難しい状況ですが、ZOOM会議等に参加することでできる限りの地域貢献や情報交換を行っております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナウイルスの影響により外部の方やご家族様の参加は難しい状況ですが、書面にてご報告しております。	2か月ごとに文書による会議を開催している。市の担当課、町内会役員、民生委員、利用者家族に次第と議事録を送付している。最近では新型コロナウイルスに関する内容を主に取り上げている。	例えばサービス評価、災害対策、介護保険制度、地域交流など会議のテーマを幅広く設定し、テーマに関する簡単な資料も送付して意見収集することを期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	石狩市内の介護保険事業所、石狩市役所職員、社会福祉協議会職員様々の方がZOOMで集まり、情報共有や石狩市の福祉サービスについて考える場を設けております。	普段から市の担当課と情報交換している。市と市内の介護施設がオンラインで定期的に会議を行っており、連携ができています。合同で行う研修事業に事業所として協力している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設内で委員会を発足し、3ヶ月に1回委員会を行っております。その中での課題分析や各ユニット職員への情報提供なども行っております。年2回法人内の研修参加や事業所独自の勉強会を開催しております。	禁止の対象となる具体的な行為を記したマニュアルがあり、3か月に1度の委員会と年2回以上の勉強会を行っている。関連施設と一緒に建物の1階玄関は通常施錠しているが、利用者の外出希望があれば職員が同行し、閉塞感を感じさせないようにしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	委員会でお話した内容を職員に伝達しております。コロナの影響で外部研修が難しいため、事業所内の勉強会や法人内の勉強会を行っております。		

グループホーム ハートの家六番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階ユニット)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在、日常生活自立支援事業や成年後見制度を利用するケースはありませんが、石狩市開催の勉強会などに参加し、支援ができるよう配慮しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前にご家族様と契約書のご説明を行い、ご家族様からの質問等があればしっかり説明しご理解を頂いております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	各フロアに意見箱の設置や運営推進会議でご意見を頂いておりましたが、コロナ対策の為電話や書面等で対応させて頂いております。	何かあれば家族に電話で報告しており、職員と家族の信頼関係ができています。家族との話し合いの内容を連絡ノートで共有するとともに、管理者がパソコンの「支援経過」に記載しているため、職員は過去にさかのぼって見ることができる。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファレンスやミーティングで職員に意見を頂いております。また個人面談も重視しており提案や意見を聞く場も開いております。必要に応じて職員からの情報等を法人本部にも報告しております。	定期的に全体会議、幹部会議、カンファレンスがあり、活発に意見交換している。管理者と職員は年2回の定期面談を行っている。職員は備品発注やホーム便り、行事などを分担し、運営に参加している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回評価制度を導入しており、職員の頑張りなどを評価している。評価面談の中で悩みや意見なども確認し良いことに関して取り組んで頂けるよう支援している。評価面談結果で給料面等も考慮している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	コロナウイルスの影響で外部研修は難しい状況だが、法人内の研修参加、新人研修、個人研修なども導入することで個人のスキルアップにも力を入れております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	石狩市内の団体に所属し、多種職の方と打ち合わせを行っております。グループホーム連絡会の参加等も行い情報交換をしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階ユニット)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にご自宅に訪問して少しでも安心感をもって頂けるよう配慮しております。認知症の状況に合わせて訪問回数や入居前までに不安が少しでも改善できるよう配慮しております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学対応から不安等の聞き取りを行うことで、ご家族様が安心してお任せ頂けるようにお話しております。又悩み等はしっかり傾聴し双方が納得できるよう配慮しております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に本人や家族様と面談を行い、必要な支援やサービスを説明しております。身体状況や精神状況に合わせて福祉用具の活用や医療の協力等も相談しております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	できる限り本人の持っている能力を活かして生活頂けるよう支援しております。一緒に活動することで一体感を持ち利用者様の存在感を感じて頂けるよう配慮しております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	コロナの影響で面会制限があり、お会いすることが難しい状況ですが、ご本人やご家族様の希望に応じて、都度電話でお話ししたり、悩みをお話できるよう、今できることを行っております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナの影響で面会制限があり、以前みたいにお会いできる機会が減っておりますが、その分電話等でお話し頂いております。個人情報問題もありますので、入居前に制限等をかける人がいるのかも確認しております。	3~4名の利用者に知人が来訪しており、家族に確認の上、玄関先で会ってもらっている。知人から贈り物が届いた際は、知人へのお礼の電話かけを支援している。近隣から入居した利用者も多く、普段の散歩で馴染みの風景を見ることができる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の認知状況や身体状況などを考慮して食堂席なども配慮しております。又共同で作業を行うことで関係性の構築にも努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階ユニット)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	病院等の入院でご退去された方などから、今後の方針についてご相談頂くこともあります。なるべく本人様の意向や家族様の意向に添えるようアドバイスをすることもあります。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活や会話を通じて、思いや要望について確認しております。又記録に残すことで他の職員も情報を共有して、多方面から情報収集できるよう配慮しております。	半分弱の利用者は言葉で思いや意向を表出でき、難しい場合は表情や過去の経験から把握している。フェイスシートとアセスメントシートを作成し、利用者の暮らし方の希望を共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご入居前やご入居後も会話の中から生活歴等や暮らし方も確認しております。なるべく本人の好んでいた活動や行動、環境を提供できるよう配慮しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護記録等に記録しており、他の把握できるよう配慮しております。ケアプラン内容や一日の活動、心身状況等も記録しております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者様1人1人に担当職員をつけておりますので、担当職員を中心に本人の思いや希望を汲み取り計画に反映しております。また介護計画作成時は担当者会議を行い、他の職員からの意見も頂けるよう会議等も開催し多方面支援できるよう配慮しております。	介護計画を3か月ごとに更新している。担当者が作成するモニタリング表をもとに、カンファレンスで評価を行い、次の計画を作成している。日々の記録は、計画目標を参照して目標番号を記入しながら記録を行い、次の計画に活かしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	1週間単位での記録シートを用いて食事量や排便・水分・一日の様子なども記入しております。シートを活用し介護計画の見直し等も行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日々の生活の中でADLの低下、認知症の進行等もありますが、その都度その人に合わせたケアを全職員で考え実施しております。状況に応じて医師の力や医療連携等にも相談し、対応しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナの影響で実施できておりませんが、コロナ前は散歩や庭作業を行い、活動の楽しみや地域交流もありました。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関を設定しておりますが、今までご利用していた病院等を引き続きご利用頂くことも可能で、ご利用者様やご家族様が選択できるよう配慮しております。	7割ほどの利用者が協力医療機関による往診を受け、その他の通院は事業所または家族が送迎している。受診内容を個人ごとの「通院台帳」に記載し共有している。	

グループホーム ハートの家六番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階ユニット)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	月に4回医療連携体制を行い、看護師に来院を頂き入居様の体調把握に努めております。都度1週間の様子や体調不良等があればお伝えしております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	管理者より病院やご家族様に連絡し情報交換を行っております。病状の把握や退院への支援などもすぐに対応できるよう連携を図っております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	日々のご生活の中や病状的な問題等含め早い段階からご家族様に支援方法等や事業所内で対応できることをお伝えしております。看取り契約の場合はしっかりと説明し同意書も記入いただき対応しております。	利用開始時に「重度化対応に関する指針」を説明して同意書に署名捺印を受けている。ここ最近で2名の看取りを行い、今後も希望に沿ってできる範囲の看取り支援を行うこととしている。看取りの勉強会も実施している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の連絡網の作成と周知、年2回の救急対応研修を実施しております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の訓練の実施と災害時に対応できる、BCP計画を作成している。又コロナ前は運営推進会議等で避難協力をお願いをしている。	年2回の避難訓練を行い、水害対応の訓練も組み入れている。最近では消防と地域の参加が得られていないが、感染症収束後は参加を依頼する予定である。定期的な救急救命訓練を行い、災害備蓄品を用意している。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は入居者様にホスピタリティーに配慮して対応頂いております。	人格の尊重に配慮し、名前はさん付けで呼ぶように統一している。個人情報の記録類の管理もされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中で気軽に話せる環境を作るよう配慮しております。そしてその思いに添えるよう配慮しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	無理することなく、その時の気分や体調に合わせて実施しております。拒否ある方はなるべく本人の気持ちに前向きな時に支援しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	職員が用意する場合がありますが、できる限り本人と確認しながら、洋服を選んでいただいております。		

グループホーム ハートの家六番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階ユニット)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の皮むきや盛り付けなども行って頂いております。食後は茶碗洗いや食器拭き等も行って下さいます。皆さん話ながら楽しんで行っています。	下ごしらえや盛り付けなど、利用者も積極的に参加している。おやつのカッキーの飾りつけなども一緒にやっている。経口摂取を続けられるよう、食事形態や味付け、美味しく見える見た目を工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	今現在は皆さんほぼ7割以上を召し上がっております。食事が少ない方はエンシュアなども対応しておりますが、なるべく食事形態等も工夫し召し上がって頂けるよう配慮しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に誤嚥性肺炎予防の為に口腔ケアを行っております。磨き残しがあれば職員がお手伝いします。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	時間ごとのトイレ誘導やパット交換を行っております。できるだけトイレでの排泄ができるよう支援しております。	一人ひとりの経時的な記録をつけ、体調管理とともに自然なトイレ誘導をしている。状態の悪化で横になっている事の多い利用者には、時間ごとのパッド交換を行い皮膚トラブルの予防に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘にならないように牛乳やヤクルトを飲んで頂いたり、水分量の把握をしておりますが、それでも難しい場合は医師に相談し下剤等を使用しております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に合わせた支援をしている	ご本人様の気分や体調、生活歴を把握し週2回入浴できるよう支援しております。身体状況や体調に応じてシャワー浴も提供しております。	日曜日以外に、一人週2回は入浴できるように予定されているが、体調や気分に合わせて変更も可能となっている。入浴を拒まれる場合は、その原因をさぐりながら、気分転換できる方法も取り入れている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調・体力・身体状況に合わせて、一日複数回ベッド臥床促す方もいますが、元気な方は夜眠れるよう日中は活動して頂けるよう配慮しています。定期的にシーツ交換も行っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬する際は誤薬を防ぐために職員同士の声かけし服用頂いております。居宅療養管理指導も行い、薬局との連携にも努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々のお手伝いや体操を行っております。入居様の望む活動をなるべくできるよう支援しております。トランプ等のゲームや創作活動を実施しております。		

グループホーム ハートの家六番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階ユニット)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ対策の一環として現在外出等はできておりませんが、コロナが落ち着いた時期を見て、近隣をお散歩したり、花を見れるなど対応しております。	感染予防を優先しながらも、近所の散歩や無人販売所での買い物など外気に触れられる機会を作っている。感染症収束後は、以前行っていた花見や動物園などに行く予定である。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様にもご説明し少量であれば金銭の持ち込みは可能とお話しておりますが、本人・ご家族様の希望により施設でお預かりしております。必要なものは言って頂き、職員が購入しております。(コロナ為)		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	コロナ対策の一環で面会制限があるため、最近では電話での連絡が増えています。電話を頂いた場合は本人に変わりお話し頂いております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居様と一緒に作成した作品を展示したり、季節ごとに合わせた作品と一緒に作ったりしております。	家庭的なキッチンや居間を囲むように居室があり、回廊式になっている。居間には作品の展示や散歩でとってきたすきが飾ってあり季節感を感じられるよう工夫されている。食卓テーブルは高さを変えられるため、安全に食事できるようになっている。冷房の設置により夏も快適に過ごせている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂で皆さん楽しく談笑したり、世間話されて楽しまれております。利用者様同士がトラブルにならないように食堂席も配慮しております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前にご本人様が使っていた家具や生活用品を持ち込んで頂いております。また写真を飾るなどご本人様が落ち着ける空間になるよう支援しております。	大きなクローゼットが備えつけられており、衣類が整理されている。自宅から使い慣れた椅子やテレビを持ち込み居心地よく過ごせるようになっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全な環境づくりはもちろんのこと、入居者様の残存機能を活用してできることは行って頂いております。できる限り本人のしたいことや体力を維持・向上できるよう支援しております。		



自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0197600356		
法人名	社会福祉法人パートナー		
事業所名	グループホームハートの家六番館 3階ユニット		
所在地	北海道石狩市花川北6条3丁目16番地		
自己評価作成日	2022年8月15日	評価結果市町村受理日	2022年9月13日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigvsoyoCd=0197600356-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigvsoyoCd=0197600356-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	令和4年9月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

石狩市の住宅街にありますグループホームです。サービス付き高齢者住宅・小規模多機能型居宅介護が併設しており、施設内での利用者様との交流が図れています。ユニット1(2階)では「なやみ少なく、まいにちかんだう」をユニット目標に掲げております。職員だけの目標ではなく、入居されている利用者様も同じ悩みを持っていること、毎日を感じて過ごして頂きたいという意味を込めて、職員と利用者様の共通目標ということで全職員で考えた目標となっております。利用者様の持っている力を最大限活かし、職員と一緒に食事の準備や後片付けをしたり、レクリエーションに元気よく参加されております。コロナウイルス対策で外出等は難しい状況ですが、コロナの感染状況が落ちれば、皆さんで沢山お出かけしていきたいと考えております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(3階ユニット)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	各ユニットごとに理念を設定しており、その目標に向かい日々努力しております。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナウイルスの影響により、予防対策の一環として外部の方を招くことが難しくなっており、コロナ前に比べると交流機会が減っているのが現状です。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナウイルスの影響により、認知症サポーター養成講座等に参加が難しい状況ですが、ZOOM会議等に参加することでできる限りの地域貢献や情報交換を行っております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナウイルスの影響により外部の方やご家族様の参加は難しい状況ですが、書面にてご報告しております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	石狩市内の介護保険事業所、石狩市役所職員、社会福祉協議会職員様々の方がZOOMで集まり、情報共有や石狩市の福祉サービスについて考える場を設けております。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設内で委員会を発足し、3ヶ月に1回委員会を行っております。その中での課題分析や各ユニット職員への情報提供なども行っております。年2回法人内の研修参加や事業所独自の勉強会を開催しております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	委員会でお話した内容を職員に伝達しております。コロナの影響で外部研修が難しいため、事業所内の勉強会や法人内の勉強会を行っております。		

グループホーム ハートの家六番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価(3階ユニット)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在、日常生活自立支援事業や成年後見制度を利用するケースはありませんが、石狩市開催の勉強会などに参加し、支援ができるよう配慮しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前にご家族様と契約書のご説明を行い、ご家族様からの質問等があればしっかり説明しご理解を頂いております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	各フロアに意見箱の設置や運営推進会議でご意見を頂いておりましたが、コロナ対策の為電話や書面等で対応させて頂いております。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファレンスやミーティングで職員に意見を頂いております。また個人面談も重視しており提案や意見を聞く場も開いております。必要に応じて職員からの情報等を法人本部にも報告しております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回評価制度を導入しており、職員の頑張りなどを評価している。評価面談の中で悩みや意見なども確認し良いことに関して取り組んで頂けるよう支援している。評価面談結果で給料面等も考慮している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	コロナウイルスの影響で外部研修は難しい状況だが、法人内の研修参加、新人研修、個人研修なども導入することで個人のスキルアップにも力を入れております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	石狩市内の団体に所属し、多種職の方と打ち合わせを行っております。グループホーム連絡会の参加等も行い情報交換をしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(3階ユニット)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にご自宅に訪問して少しでも安心感をもって頂けるよう配慮しております。認知症の状況に合わせて訪問回数や入居前までに不安が少しでも改善できるよう配慮しております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学対応から不安等の聞き取りを行うことで、ご家族様が安心してお任せ頂けるようにお話ししております。又悩み等はしっかり傾聴し双方が納得できるよう配慮しております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に本人や家族様と面談を行い、必要な支援やサービスを説明しております。身体状況や精神状況に合わせて福祉用具の活用や医療の協力等も相談しております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	できる限り本人の持っている能力を活かして生活頂けるよう支援しております。一緒に活動することで一体感を持ち利用者様の存在感を感じて頂けるよう配慮しております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様に対し本人の生活状況や近況報告し思いや希望を聞かせて頂き、共有させて頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナの影響で面会制限があり、以前みたいにお会いできる機会が減っておりますが、その分電話等でお話し頂いております。個人情報の問題もありますので、入居前に制限等がかかる人がいるのかも確認しております。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の認知状況や身体状況などを考慮して食堂席なども配慮しております。又共同で作業を行うことで関係性の構築にも努めております。		

グループホーム ハートの家六番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価(3階ユニット)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	病院等の入院でご退去された方などから、今後の方針についてご相談頂くこともあります。なるべく本人様の意向や家族様の意向に添えるようアドバイスをすることもあります。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活や会話を通じて、思いや要望について確認しております。又記録に残すことで他の職員も情報を共有して、多方面から情報収集できるよう配慮しております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご入居前やご入居後も会話の中から生活歴等や暮らし方も確認しております。なるべく本人の好んでいた活動や行動、環境を提供できるよう配慮しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護記録等に記録しており、他の把握できるよう配慮しております。ケアプラン内容や一日の活動、心身状況等も記録しております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者様1人1人に担当職員をつけておりますので、担当職員を中心に本人の思いや希望を汲み取り計画に反映しております。また介護計画作成時は担当者会議を行い、他の職員からの意見も頂けるよう会議等も開催し多方面支援できるよう配慮しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	1週間単位での記録シートを用いて食事量や排便・水分・一日の様子なども記入しております。シートを活用し介護計画の見直し等も行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日々の生活の中でADLの低下、認知症の進行等もありますが、その都度その人に合わせたケアを全職員で考え実施しております。状況に応じて医師の力や医療連携等にも相談し、対応しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナの影響で実施できておりませんが、コロナ前は散歩や庭作業を行い、活動の楽しみや地域交流もありました。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関を設定しておりますが、今までご利用していた病院等を引き続きご利用頂くことも可能で、ご利用者様やご家族様が選択できるよう配慮しております。		

グループホーム ハートの家六番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価(3階ユニット)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	月に4回医療連携体制を行い、看護師に来訪を頂き入居様の体調把握に努めております。都度1週間の様子や体調不良等があればお伝えしております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	管理者より病院やご家族様に連絡し情報交換を行っております。病状の把握や退院への支援などもすぐに対応できるよう連携を図っております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	日々のご生活の中や病状的な問題等含め早い段階からご家族様に支援方法等や事業所内で対応できることをお伝えしております。看取り契約の場合はしっかりと説明し同意書も記入いただき対応しております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の連絡網の作成と周知、年2回の救急対応研修を実施しております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の訓練の実施と災害時に対応できる、BCP計画を作成している。又コロナ前は運営推進会議等で避難協力をお願いをしている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は入居者様にホスピタリティーに配慮して対応頂いております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中で気軽に話できる環境を作るよう配慮しております。そしてその思いに添えるよう配慮しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	無理することなく、その時の気分や体調に合わせて実施しております。拒否ある方はなるべく本人の気持ちに前向きな時に支援しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	職員が用意する場合がありますが、できる限り本人と確認しながら、洋服を選んでいただいております。		

グループホーム ハートの家六番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価(3階ユニット)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	介護度が重い方が多いですが、できる方には茶碗洗い等行っていただいております。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	今現在は皆さんほぼ7割以上を召し上がっております。食事が少ない方はエンシュアなども対応しておりますが、なるべく食事形態等も工夫し召し上がって頂けるよう配慮しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に誤嚥性肺炎予防の為に口腔ケアを行っております。磨き残しがあれば職員がお手伝いします。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	時間ごとのトイレ誘導やパット交換を行っております。できるだけトイレでの排泄ができるよう支援しております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘にならないように牛乳やヤクルトを飲んで頂いたり、水分量の把握をしておりますが、それでも難しい場合は医師に相談し下剤等を使用しております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に合わせた支援をしている	ご本人様の気分や体調、生活歴を把握し週2回入浴できるよう支援しております。身体状況や体調に応じてシャワー浴も提供しております。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調・体力・身体状況に合わせて、一日複数回ベッド臥床促す方もいますが、元気な方は夜眠れるよう日中は活動して頂けるよう配慮しています。定期的にシーツ交換も行っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬する際は誤薬を防ぐために職員同士の声かけし服用頂いております。居宅療養管理指導も行い、薬局との連携にも努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	介護度が高い方が多いため、個別対応することが多いです。入居者様によっては職員と一緒に散歩したり、一緒に本を読んだりご本人様の好む活動を支援しております。		

グループホーム ハートの家六番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価(3階ユニット)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ対策の一環として現在外出等はできておりませんが、コロナが落ち着いた時期を見て、近隣をお散歩したり、花を見れるなど対応しております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様にもご説明し少量であれば金銭の持ち込みは可能とお話しておりますが、本人・ご家族様の希望により施設でお預かりしております。必要なものは言って頂き、職員が購入しております。(コロナ為)		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	コロナ対策の一環で面会制限があるため、最近では電話での連絡が増えています。電話を頂いた場合は本人に変わりお話し頂いております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居様と一緒に作成した作品を展示したり、季節ごとに合わせた作品と一緒に作ったりしております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂で皆さん楽しく談笑したり、世間話されて楽しまれております。利用者様同士がトラブルにならないように食堂席も配慮しております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前にご本人様が使っていた家具や生活用品を持ち込んで頂いております。また写真を飾るなどご本人様が落ち着ける空間になるよう支援しております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全な環境づくりはもちろんのこと、入居者様の残存機能を活用していただけることは行って頂いております。できる限り本人のしたいことや体力を維持・向上できるよう支援しております。		



目標達成計画

事業所名 グループホームハートの家六番館

作成日 令和 4年 9月 13日

市町村受理日 令和 4年 9月 13日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	例えばサービス評価、災害対策、介護保険制度、地域交流など会議のテーマを幅広く設定し、テーマに関する簡単な資料も送付して意見収集することを期待したい。	次回の運営推進会議からコロナウイルス以外の話題を提案していく。具体的には今回の外部評価の結果や9月1日開催の夏祭りのイベントについて等現状の取り組みに関してお伝えしていく。	令和4年9月に運営推進会議の開催日の為、今回の外部評価の結果や評価をお伝えしていく。また2月後にも新たな話題を設定し年間を通して、事業所の取り組みやイベント内容をお伝えしていく。	1か月
2					
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。